

2015年6月29日

2015年度国際交流基金事業特別講義実施報告

報告者：政治経済学部 教授 竹下 俊郎

2015年度国際交流基金事業・外国人学識者招請計画（短期）の一環として、米国インディアナ大学メディア学部教授ラーズ・ウィルナット博士（Lars Willnat, Ph.D.）を6月7日～6月27日の日程で明治大学に招請した。

●**ラーズ・ウィルナット教授** ウィルナット教授は政治コミュニケーション、世論研究、ジャーナリズム研究が専門で、これらの分野で多くの論文や著作を公表している。政治コミュニケーション研究の分野では、アジア諸国におけるメディアと政治意識・行動との関連を、欧米諸国と比較しながら究明する試みを続けており、その成果として *Political Communication in Asia* (Routledge, 2009)、*Social Media, Culture and Politics in Asia* (Peter Lang, 2014) [ともに共編著]がある。また、インディアナ大学ジャーナリズム学科は1982年からほぼ10年おきに米国ジャーナリストの実態調査を実施しているが、教授は現在この研究プロジェクトの統括役も務めている。2013年に実施された最新調査の結果は、次のタイトルで近々上梓される予定である：*The American Journalist in the Digital Age* (Peter Lang, in progress)。

●**特別講義の実施** 今回、次の3回の特別講義を実施した。第1回と第2回は大学院生を対象とし、第3回は学部学生向け（ただし一般公開として告知）に企画した。

○第1回「米国メディアの新動向：変容する米国のニュース産業（New Trends in the U.S. Media: An In-Depth Look at the Changing US News Industry）」実施日時：6月9日（火）14:40～16:10。場所：リバティータワー1092教室。使用言語：英語。政治経済学研究科の院生を中心に8名が参加。

○第2回「デジタルメディア・テクノロジーと選挙：現代の選挙キャンペーンにおける新メディアの役割（Digital Media, Technology & Elections: The Role of Emergent Media in Modern Election Campaigns）」実施日時：6月16日（火）14:40～16:10。場所：リバティータワー1092教室。使用言語：英語。政治経済学研究科の院生を中心に10名が参加。

○第3回 「ネットニュースの社会学：どう作られ、どう消費されるか（Sociology of Online News: The Production and Consumption of Online News）」実施日時：6月19日（金）14:40～16:10。場所：リバティータワー1166教室。使用言語：英語（日本語通訳あり）。政治経済学部の学生たち、および学外からのさまざまな年齢の一般参加者も含め、28名が参加。

なお、この第3回講義のポスター、およびウィルナット教授が用いたスライド用資料を別掲する。

以上